

# 男女共同参画 基本計画 策定委員会 通信

この事業は、公益財団法人三重県文化振興事業団（三重県男女共同参画センター）の助成を受けています。

-Vol.3- R7.12.24 号

度会町男女共同参画基本計画策定委員会  
〈事務局〉度会町役場総務課 ☎62-1111

第2次度会町男女共同参画基本計画についての見直しを行うため、去る12月16日、第2回度会町男女共同参画基本計画策定委員会を開催しました。

講師に教育委員会の前滝直志 学力向上指導監を、オブザーバーとして中村武弘 教育長をお迎えしました。

講演では、「LGBTQ+」への配慮や「ジェンダー平等」の側面から「学校生活」における時代の変化について理解を深めました。

教師として、生徒と接する際に気を付けていることや、失敗から得た学びなど、体験談や具体例を交えた講演は、自分の考え方の偏りを知り、これまでの人との接し方について省みる良い機会となりました。

## 「当たり前」の変遷を知る

### \*時代によって違っていて知ってましたか？\*

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 男の子は「坊主」？      | 女の子は「おかつぱ」か「おさげ」？ |
| 男子の制服は「ズボン」？   | 女子の制服は「スカート」？     |
| 男子の体操服は「半ズボン」？ | 女子の体操服は「ブルマ」？     |
| 「技術」の授業は男の子だけ？ | 「家庭」の授業は女の子だけ？    |

現在は、性別にかかわらず技術や家庭の授業を受けています。

女生徒がスラックスで登校することもできるようになりました。

今の時代に「当たり前」のことが、かつては「当たり前ではなかった」ことに気付くと、『男女共同参画基本法』が施行された背景や、時代の変遷を実感することができます。

多様性の対応への課題は、単純なものではありません。  
これまでの自身の行動を振り返って、自分の無意識の行動を自覚することが、スタートです。



前滝直志 学力向上指導監

思い込みに気付いていますか？

「バイアス」について考える

### \*「男は仕事・女は家庭」といった、特定の役割への根強い思い込みは、ありませんか？\*

→性別や男女の役割について、社会や個人が無意識のうちに抱く固定的な思い込みや偏見を【ジェンダー・バイアス】といいます。

### \*「大工」「トラックの運転手」「消防士」といった職業を思い浮かべるとき、イメージするのは、男性ですか？ 女性ですか？\*

→国の第5次男女共同参画基本計画には、【アンコンシャス・バイアス】という用語が盛り込まれており、これを、「誰もが潜在的に持っている思い込みのこと。」と説明しています。

## 委員の感想・気付き

- ◎普段から課題意識を持っていると、いろいろな情報を得られる。
- ◎一般の人も、こういう話を聞く機会や、考える機会があると良いと思う。
- ◎誰もが生きやすい社会になるように、他人事ではなく、自分のこととして考えていきたい。
- ◎ただ計画を立てるだけでは、変わらない。どう広めていくかが課題。
- ◎柔軟な考えを持った子どもたちが育った後、これからの社会が楽しみ。女性の躍進がもっと見られるといい。



中村教育長

度会中学校で、女生徒のスラックスでの登校が可能になったのは、生徒の意見がきっかけ。生徒の声に、すぐに対応してくれた学校にも感謝しています。文化や生活習慣も大事ですが、それにとらわれず、気付いたことに声をあげられる【信頼関係】が大切なのは、学校も社会も同じです。

## 第3次 度会町男女共同参画基本計画 策定 進捗状況

第2回委員会において、計画の構成や内容について協議しました。

「多様性」を含めた基本理念をもとに計画を策定することや、SDGsに関する記述を含めること、計画の期間を5年とすること等を決定しました。